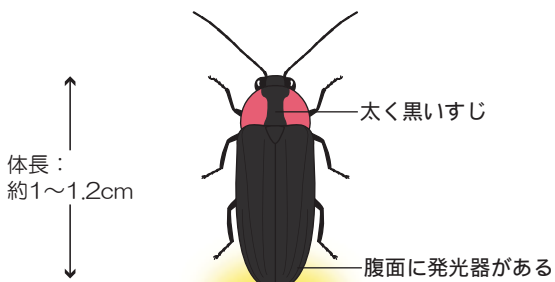
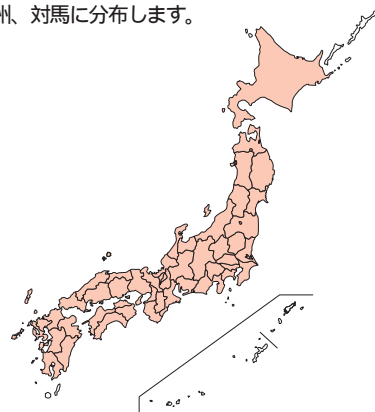


別名：一文字ボタル



分布

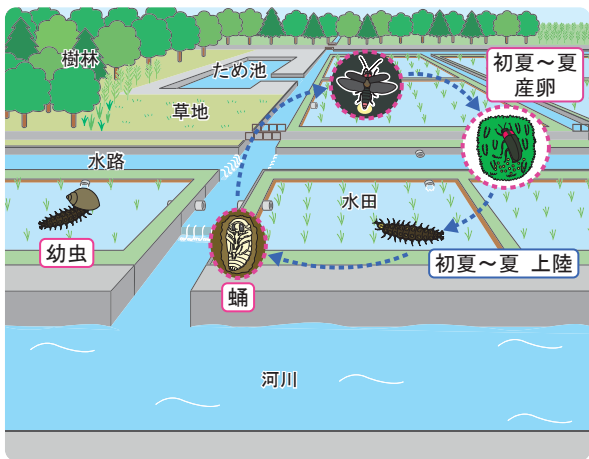
北海道、本州、四国、九州、対馬に分布します。



メモ 田んぼを代表する生き物として、また日本の夏の風物詩として親しまれています。ゲンジボタルより発光時間が短く、約0.5秒に1回と、せわしく発光します。

生態

----> : 本来の移動経路 ○ : 生息環境



主な産卵環境と生息環境

↔ : 主な生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
		産卵	産卵		

生活史

幼虫は、緩やかな流れの水路や水田に生息し、小型の巻貝を食べて育ちます。幼虫は初夏から夏に上陸して岸際の土の中で蛹になります。成虫は水田周辺で活動し、岸際のコケなどに産卵します。

写真



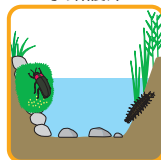
成虫はゲンジボタルよりもやや遅い時期に出現します。体が小さく光も弱いですが、ゲンジボタルと比べて水田環境に適応しており、古くから農家の人に身近な存在として親しまれています。

配慮対策

生息環境の確保 岸際に土・コケのある緩流水路の創出

環境配慮型水路の対象工法

水路護岸



【水路護岸】

- 土水路 p.73
- かご系 p.74
- 木系 p.75
- 自然石系 p.76
- 二次製品系 p.77

【配慮ポイント】

・生息環境になる緩やかな流れと、幼虫の上陸場所となる岸際の土と産卵場所となる岸際のコケの形成に配慮した護岸となるような護岸が必要です。

水田周辺の環境の創出

保全池・ビオトープの対象工法

池、水路、
湿地の創出



【池、水路、湿地の創出】

- 承水路 p.91
- 耕作放棄地等の
ビオトープ化 p.92

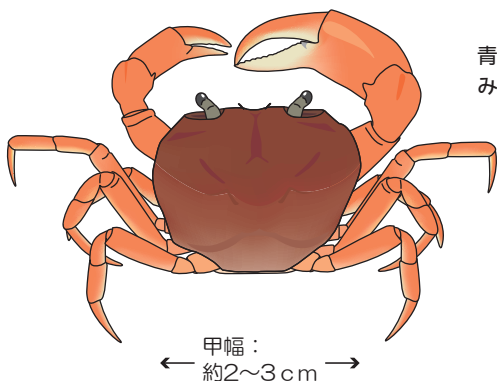
【配慮ポイント】

・生息環境である水田周辺の水域環境の形成を配慮する工夫が必要です。

移動経路の確保 水域と陸域との連続性の確保

【配慮ポイント】

・上記の生息環境を確保することによって、幼虫の生息する水域と成虫の生息する陸域の移動経路を確保します。



青みがかった個体もみられる

甲幅：
← 約2~3cm →

メモ 淡水で一생을過ごすカニの仲間です。名前どおり沢や小川で多くみられ、きれいな水の指標生物になっています。

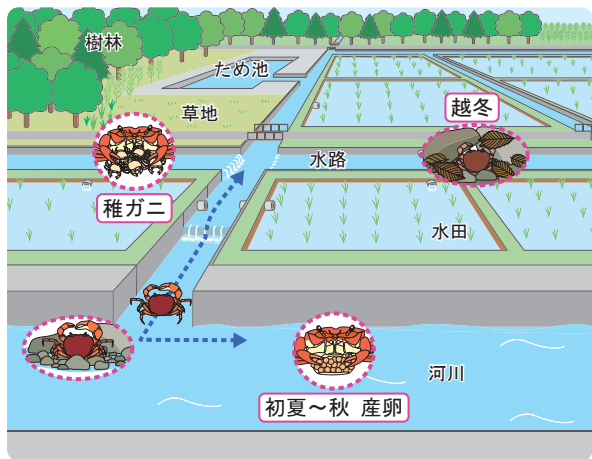
分布

サワガニは本州から九州まで分布します。南西諸島には、12種の近縁種が分布します。



生態

----> : 本来の移動経路 ○ : 生息環境



主な産卵環境と生息環境

←→ : 主な生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
			産卵	産卵	

生活史

河川の上流域や水路に主に生息し、周辺の湿地にも進出します。砂礫底を好みます。初夏から秋に産卵し、メスは腹部に卵を抱いて、ふ化後、稚ガニの体が硬くなるまで保護します。岩の隙間や石の下など空隙で越冬します。

写真



卵を抱くサワガニ

サワガニは、1回の産卵で30~70個の卵を産みます。孵化まで、30~40日間抱卵します。



配慮対策

生息環境の確保 砂礫底・空隙の創出

環境配慮型水路の対象工法

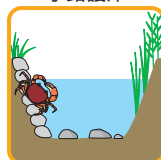
水路断面



【水路断面】

- 瀬・淵 p.69
- ワンド p.70
- 敷石、砂、砂利、玉石、植生 p.72

水路護岸



【水路護岸】

- 土水路 p.73
- かご系 p.74
- 木系 p.75
- 自然石系 p.76
- 二次製品系 p.77
- 複合系（井桁護岸） p.78

【配慮ポイント】

- ・砂礫や小石の多い環境を好み、岩の隙間などで越冬するため、砂礫底と空隙を形成する工夫が必要です。

移動経路の確保 生息環境の連続性の確保

【配慮ポイント】

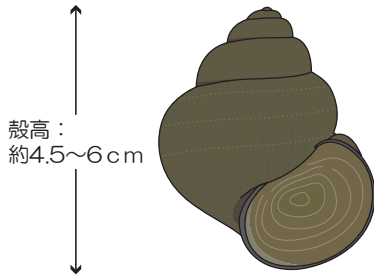
- ・上記の生息環境を連続的に確保することによって、移動経路も確保します。

タニシ類

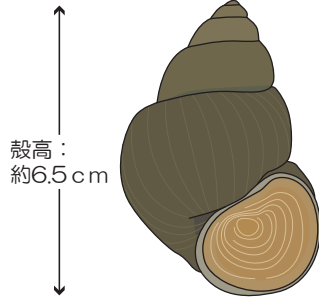
マルタニシ *Cipangopaludina chinensis leata*
 オオタニシ *Cipangopaludina japonica*

環境省レッドリスト：準絶滅危惧
 環境省レッドリスト：準絶滅危惧

マルタニシ



オオタニシ



マルタニシに比べて
やや角ばる

分布

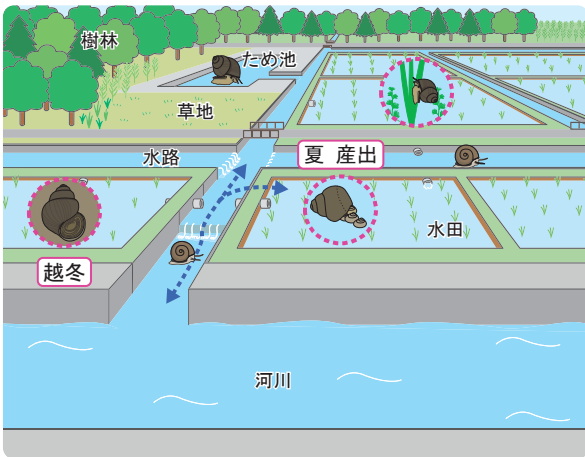
マルタニシ、オオタニシともに北海道から九州に分布します。
 マルタニシは沖縄にも移植されています。



メモ 淡水にすむ巻き貝の仲間です。かつては食用とされ、農村地域における貴重なタンパク源となっていました。

生態

----> : 本来の移動経路 ○ : 生息環境



主な産卵環境と生息環境

←→ : 主な生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
	産出	産出	産出		

生活史

水路、ため池、水田に主に生息し、**底泥**や**水生植物**に附着した微小藻類などを食べます。卵は体内でふ化し、初夏から夏に稚貝を**産出**します。冬は水田などの干上がった**泥中**でも越冬することができます。

写真



マルタニシ



オオタニシ

適度に湿った泥中で越冬しますが、冬季は乾燥させる水田が増えてきたため、越冬できる環境がなくなりつつあります。

配慮対策

生息環境の確保 水路、ため池における泥底、水生植物の創出

環境配慮型水路の対象工法

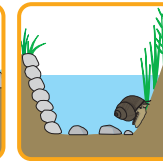
【水路断面】

- 瀬・淵 p.69
- ワンド p.70
- 敷石、砂、砂利、玉石、植生 p.72

水路断面



水路護岸



【水路護岸】

- 土水路 p.73
- かご系 p.74
- 木系 p.75
- 自然石系 p.76
- 二次製品系 p.77

保全池・ビオトープの対象工法

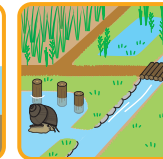
【池護岸】

- 自然石系 p.85
- 複合系 p.86
- (捨石等による緩傾斜護岸)
- かご系 p.87
- 木系 p.88
- 二次製品系 p.89

池護岸



池、水路、湿地の創出



【池、水路、湿地の創出】

- 保全池 p.90
- 承水路 p.91
- 耕作放棄地等のビオトープ化 p.92

【配慮ポイント】

・生息および採餌環境となる、**底泥**の堆積と、**水生植物**の生育に配慮する工夫が必要です。

移動経路の確保 生息環境の連続性の確保

【配慮ポイント】

・上記の生息環境を連続的に確保することによって、移動経路も確保します。